

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook等)へのアップロード・転載はお止めください】

【リンクはご自由にお貼りください】

「結婚の自由をすべての人に」九州訴訟(福岡地裁)第7回期日(20220210)提出の書面です。

令和元年(ワ)第2827号、令和3年(ワ)第447号

「結婚の自由をすべての人に」訴訟事件

原告 原告番号1(こうすけ)、原告番号2(まさひろ) 外4名

被告 国

証拠説明書18(甲A号証)

福岡地方裁判所 第6民事部合議B係 御中

2022(令和4)年1月31日

原告ら訴訟代理人 弁護士 石井 謙一

同 弁護士 森 あい

ほか22名

号証 (甲A)	標目	原本写 しの別	作成年月日	作成者	立証趣旨
456	意見書	写し	2021年12月20日	大野友也	大野友也鹿兒島大学准教授作成の意見書。 同性間に婚姻を認めていない本件規定は、性別による差別に該当し、憲法14条1項に反すること等。
457	論文「遺族扶助における生活パートナーの排除と一般的平等原則」ドイツ憲法判例研究会『ドイツの憲法判例IV』(抄)	写し	2018年10月30日	井上典之	ドイツ連邦憲法裁判所の判例において、婚姻か生活パートナーシップかについての個人の決定は、その性的指向性と分ち難く結びついており、両者間の別異取扱いを正当化するためには、長期にわたり法的に固定された生活共同体の両形式の間に重大な違いがあることが必要となるとされていること。
458	『家族法〔第3版〕』(抄)	写し	2010年3月25日	大村敦志	被告が第4準備書面39頁で自説の根拠としている大村教授の文献における、参照先の記述。 大村教授の記述の趣旨は、婚姻意思の内容を抽象化して理解するという意味であること。
459	『親族法講義』(抄)	写し	昭和63年4月10日	鈴木禄弥	同書のまえがきに、「抽象的な概念規定や要件・効果の羅列を極力避け、具体的な制度のあり方や機能をまず叙述し〔た〕」との方針が示されていること(1頁)。

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook等)へのアップロード・転載はお止めください】

【リンクはご自由にお貼りください】

「結婚の自由をすべての人に」九州訴訟(福岡地裁)第7回期日(20220210)提出の書面です。

460	『裁判医学提綱前編』 (抄)	写し	明治21年3月22日	片山国嘉・ 江口襄	1888年(明治21年)に出版された医学書において、同性愛(反対的陰部感覚)が精神病の一種として取り上げられていること(252～253頁)。
461	『精神病学集要前編』 (抄)	写し	明治27年9月14日	呉秀三	1894年(明治27年)に出版された医学書において、同性愛(色情転倒症)が精神病の一種として取り上げられていること(160頁)。